

NEWS 1

寄付金などにより、下岡蓮杖の肖像画が復活しました！



修復後、肖像画は下田市民文化会館の壁面に
紹介文と共に大切に展示されています

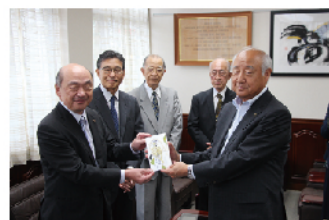
下岡蓮杖肖像画（下田まち遺産認定番号 142）は晩年の蓮杖の写真を参考に画家の馬堀喜孝が昭和 28 年に描いたもので、旧下田小学校に展示されていましたが、昭和 40～50 年代の地震等により落下し破損、その後は市立図書館などで保管されていました。

この度、下岡蓮杖プロジェクト（事務局：下田商工会議所）を通じて市民や観光客の方々から集めた 30 万円が修復費用に充てられ、令和元年 8 月 30 日に修復が完了しました。

現在、この肖像画は旧下田小学校の跡地である下田市民文化会館に展示されています。

今村伝四郎正長と同じく下田小学校の校歌に歌われている下岡蓮杖は下田市を代表する偉人の一人です。

肖像画のみならず、蓮杖の業績も未来に残していきたい下田まち遺産の一つです。



下岡蓮杖プロジェクトの代表者から
下田市に寄付金が渡されました

NEWS 2

なまこ壁の代表的な歴史的建造物
雑忠の外壁修繕を行いました

下田まち遺産登録番号 1 号「^{さいちゅう}雑忠」の外壁修繕に対する景観まちづくり助成金※の助成を令和元年 5 月に行いました。江戸時代廻船問屋を営んでいた雑忠の建物は江戸時代後期のもので、なまこ壁が美しく、下田市を代表する歴史的建造物の一つです。綺麗ななまこ壁をバックに写真を撮ってみてはいかがでしょうか。このほか今年度は安直楼の屋根修繕、土藤商店の看板修繕、花通りのハンギングバスケットに対して助成を行っており、今後も魅力ある下田まち遺産群の保全に取り組んでまいります。

※景観まちづくり助成金はふるさと納税でまかなわれています



修繕後は耐久性のある材料を使用し、長期的な維持が期待できます



修繕前の壁面。瓦部分（黒い壁）は建設当時のもので、劣化が進んでいました



観光客の撮影スポットとしても
人気の雑忠の外観



格子状に盛られた漆喰部分は
丁寧に職人が仕上げます

NEWS 3

プチメンテでまちを綺麗に！

中島橋交差点（下田市街入口スクランブル交差点）付近にあるなまこ壁風堀の塗り替えや周辺の清掃を下田土木事務所主催で令和元年 8 月 9 日に行い、建設業協会や青年会議所、観光協会などの各団体や市民の方々が参加しました。当日は日差しが強かったですが、ハケで壁を塗ったり、ゴミ拾いをするなど、参加者の皆さまが一生懸命に頑張ってくださいました。風景の一部となる既存施設を美しく保つことも美しい景観づくりの一つです。



壁面に一列に並び、瓦部分（黒い壁）を養生テープで隠して、
白い部分をペンキで塗りました



小さなお子さんも手伝ってくれました

NEWS 4

下田まち遺産の取組みを紹介させてください！



下田小学校での出前講座の様子

市内小学校や老人会などを対象に下田まち遺産制度や景観について出前講座を行っています。市民の皆さまに下田まち遺産制度を知っていただくとともに、それぞれの地域の良さを再発見する機会となっていれば幸いです。

建設課では今後も未来に残したい、大切にしていきたい下田まち遺産について出前講座等を行ってまいりますので、ご希望の方はお気軽にご連絡ください。



相玉老人会での出前講座の様子



大賀茂老人会での出前講座の様子

出前講座 連絡先

下田市役所建設課
下田まち遺産担当

TEL.0558-22-2219
mail kensetsu@city.shimoda.lg.jp